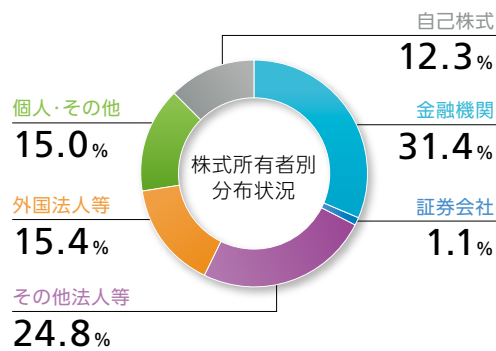


会社概要 2025年3月末時点

商号	テイ・エス テック株式会社(英文表示:TS TECH CO.,LTD.)
設立	1960年12月5日
本社	〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町3丁目7番27号
資本金	4,700百万円
代表取締役社長	保田 真成
事業内容	四輪車用シート、四輪車用内装品、二輪車用シート、二輪車用樹脂部品の製造販売 等
社員数	連結 14,163名 単体 1,634名
決算期	3月31日
上場市場	東京証券取引所プライム市場
主要銀行	(株)三菱UFJ銀行、(株)三井住友銀行、(株)埼玉りそな銀行
主な取引先	本田技研工業(株)、(株)ホンダトレーディング、(株)ホンダアクセス、スズキ(株)、ヤマハ発動機(株)、カワサキモータース(株)、Volkswagen AG、BMW Group、Harley-Davidson, Inc.、パラマウントベッド(株)
加盟団体	日本自動車部品工業会

株式情報 2025年3月末時点

発行可能株式総数	272,000,000株
発行済株式総数	136,000,000株*
株主数	46,839名



※2025年5月30日付で普通株式12,000,000株を消却しています。

大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
本田技研工業株式会社	25,620	21.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,440	11.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,154	4.3
株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	4,398	3.7
住友生命保険相互会社 (常任代理人株式会社日本カストディ銀行)	3,880	3.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)	2,779	2.3
オカモト株式会社	2,752	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	2,720	2.3
株式会社三菱UFJ銀行	2,638	2.2
日本生命保険相互会社 (常任代理人日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	2,580	2.2

(注) 1. 株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当社は、自己株式16,745,436株を保有していますが、上記大株主から除いています。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しています。

外部評価 2025年8月末時点

CDP



企業や自治体の環境への取り組みを評価する国際的な非営利団体CDPより、気候変動領域においてリーダーシップレベルの「A-」、水セキュリティ領域において「B」のスコアを獲得しました。



また、サプライチェーン全体での気候変動対応に関する調査においては、最高評価である「A」スコアを獲得し、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

CSR企業ランキンヅ CSR企業総覧2025年版



企業の社会的責任と財務の両データから「信頼される会社」を評価する同ランキンヅにて、1,715社中235位となりました。

Eco Vadis



国際的なサステナビリティ評価機関であるEco Vadis社の定める評価基準に準拠し、優れたマネジメントシステムの運用を実証した企業として「コミットメント・バッジ」を獲得しました。

FTSE



FTSE4Good

FTSE Blossom
Japan IndexFTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ESG評価の高い日本企業のパフォーマンスを測定するために設計された「FTSE4 Good Index Series」および日本市場に特化した「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に2年連続選定されました。また、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」については、3年連続の選定となりました。

SOMPO Sustainability Index



Sompo Sustainability Index

ESGへの取り組みと企業価値を統合評価する、同インデックスにおいて、2年連続して構成銘柄に選定されました。

Gomez IRサイトランキンヅ

IRサイト
総合ランキンヅ
銅賞
2024年

IRサイトの使いやすさ・情報充実・開示姿勢を評価する同ランキンヅにて銅賞を受賞しました。

「テイ・エス テック 統合報告書2025」の発行にあたって

テイ・エス テックでは、当グループの中長期的な価値創造のプロセスや、企業価値の向上に向けた取り組みについて、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに深くご理解いただくことを目的として、統合報告書を発行しています。本報告書の対象期間である2025年3月期は、第15次中期経営計画(2024年3月期～2026年3月期)の中間期であり、中期目標ならびにその先の2030年目標の達成に向け、事業計画策定時からの環境変化に柔軟に対応しながら、重点戦略を主軸とした諸施策を着実に進めてきた1年となりました。

本報告書では、社員一人ひとりが「人材重視」「喜ばれる企業」という企業理念を実践する中で積み重ねてきた取り組みを振り返りながら、その中で培われた強みや競争力について多角的に紹介しています。さらに企業価値向上へのつながりを、具体的な事例を交えながら紐解くことで、企業活動の背景にある価値創造プロセスをより明瞭化しています。不確実性が増す事業環境においても新たな価値を創造し続ける当社の姿を映した本報告書が、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話の一助となりましたら幸いです。

また、企業の持続的な成長に不可欠であり、企業活動の優位性にもつながる、環境・社会・ガバナンス(ESG)やマテリアリティ(重要課題)への取り組み、企業成長の柱として最も重要な人的資本を強化する人材戦略、サプライチェーンや地域社会との共生等の情報も含めて包括的に掲載しています。

私は、制作統括責任を担う管理本部長として、この統合報告書の作成プロセスが正当であり、記載内容が、透明性と信頼性の高いものであることをここに表明いたします。今後も、皆さまとの積極的な対話を通じて情報開示のさらなる充実を図り、「喜ばれる企業」であり続けることを目指してまいります。

執行役員 管理本部長 平野 哲



執行役員 平野 哲(左から4番目)および「テイ・エス テック統合報告書 2025」制作チーム
コーポレート・コミュニケーション部 広報課

統合報告書の制作プロセス

